

◆ 目次 ◆

- 1 「伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶」
- 2 「総領事館からのお知らせ」
- 3 「寄稿」
- 4 「領事便り」
- 5 「広報・文化便り」
- 6 「日本関連行事等のお知らせ」
- 7 「ケベック州・大西洋4州政治経済情勢」

1 伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶

先月のご挨拶で「モンリオールもいよいよ夏を迎えました」と書いたにもかかわらず、ここ数日は朝晩気温も下がり、「え、もう夏も終わりなの」という気持ちになります。赴任した頃、「モンリオールは冬が長くて、6月になると突然夏になりますよ」という話をよく聞いたのですが、30度以上の高温多湿の夏を「夏」として経験してきた日本人の肌感覚としては、「モンリオールの夏は短い（、けれど快適だ）」というのが日本人一般に対する正確な説明だと思ふようになりました。

短い夏ではありますが、色々なお祭りを楽しませて頂きました。3日は「祭り Japon」に参加させて頂き、初めて御神輿を担ぎました。先日は、サン・ヴァランタン村主催の観光促進事業の一環で、夏祭り最中のサン・ジャン・シュウ・リシュリュウにて初めて気球に乗りました。色とりどりの巨大な気球が一斉に空に飛び立つ光景は絶景です。明日は、オタクトンのコスプレ大会に参加します。至る所で日本に対する関心の高まりや日本人との交流に対する期待を強く感じ、大変うれしく思います。

また、お祭りではありませんが、5日（日本では6日）に、広島（そして長崎）の原爆慰霊のために、植物園の日本館で平和の鐘をつきました。式典には想像していなかった程の多くの方々に参列して頂き、核廃絶、平和への願いは日本もカナダも共通だという思いを強くしました。

今月終わりには、憲仁親王妃（高円宮妃）久子殿下がプリンスエドワードアイランド（PEI）州を御訪問される予定です。妃殿下の今回のカナダ御訪問の趣旨は、カナダ他都市における日加修交90周年記念行事及びPEI州でのルーシー・モード・モンゴメリ記念ヘリテージパーク開園関係行事への御臨席です。日加親善のための重要な御訪問ですので、現地での受け入れに遺漏無きを期そうと思ひます。

2 総領事館からのお知らせ

- (1) 2019年8月、9月の休館日のお知らせ

9月2日（月）Labour Day

3 寄稿 ~Hojo's Japanese Cuisine オーナー 北條雄一（PEI 州在住）より~

私の履歴書

2019年5月1日、令和時代の始まりと共に Hojo 's Japanese Cuisine という日本食レストランを PEI のシャーロットタウンに開業しました。

私は人生を 20 年毎に区切って新しい挑戦をしようと考えています。つまり、初めの約 20 年は学生として、その後の 20 年はサラリーマンとして、そして 40 歳を超えたら事業者になろうと考えていました。

その準備として外資系金融機関で働きながら貯金と投資を行い、幅広い知識を身に着けるために中小企業診断士の資格を取得しました。

外資系企業で働く中で私が最も苦労したのが英語でした。ミーティングやメールなど社内のコミュニケーションはほぼ英語でしたので、留学経験の無い私にはかなりの苦労がありました。

私は 3 人の息子に恵まれ、この子達には人生の早い段階で英語を習得して欲しいと強く思いました。そして、2015 年に長男をカナダへ留学させ、その保護者会に参加するため、私と妻はカナダへ旅行する機会が数回ありました。その際、現地の人々は英語も上手く話せない私達のことを受け入れ話の輪にも入れて下さり、多様性を尊重する文化を持ったカナダ社会に感激しました。

そして将来、家族でカナダに住んでみたいという思いが沸き上がり、2018 年 3 月にそれが現実のものとなりました。

PEI を選択した理由は、1) 赤毛のアンで PEI には馴染みがあったこと、2) 治安の良さ、3) 英語圏の社会、4) 空気が非常にきれい（北極と大差のないほど）だったことです。そして住んでみて分かったことですが、住民は非常に人の良い方が多いです。例えば、PEI では見知らぬ人でもすれ違う時には挨拶を交わしますし、交通マナーも素晴らしく、人が横断歩道のない車道を渡るうとするとほぼ 100% の確率で車が停車してくれます。

ただ PEI で生活をする中で、日本食がとても恋しくなりました。当時 PEI には本物の日本食を提供するレストランが無かった為、PEI の人々にも「日本人の作る日本食を楽しんでもらいたい」という思いもあり、自ら開業することを決意しました。

2018 年の秋、日本料理を提供できる日本人シェフを探し始め、現在ヘッドシェフの香月さんと出会いました。香月さんは北海道の寿司コンペティションで準優勝するなど、他にも数々の賞を受賞した料理人で、彼との出会いで開店のシナリオは大きく前進しました。そして彼の紹介でラーメンスペシャリストの高島さんも加わり、90 席を超える日本食レストランの開業となりました。

食材もカナダ、米国そして日本から良質なものを取り揃え、できる限り日本的高级料理店に近

づける努力をしています。例えば、ラーメンの麺は日本から輸送された製麺機で毎日製麺し、スープは完全にホームメイドで鶏ベースと豚ベースのこだわりスープから全8種類のラーメンを作っています。

また、天然マグロを1本丸ごとメキシコから購入し、大トロや中トロも提供しています。そして、夏にはPEI産のマグロも提供する予定です。また、日本人が一番重視する米は品質にこだわり、更に水の硬度も調整することで、シャリは非常に完成度の高いものとなっています。ぜひ、PEIに来た際は一度お立ち寄りください。

Hojo' s Japanese Cuisine
オーナー 北條雄一 (PEI州在住)

4 領事便り

(1) 当館管轄州での9月、10月の領事出張サービスについて (再度のご案内)

当館では、モントリオールから離れた地域にお住まいの皆様のために、領事出張サービスを実施しています。

9月、10月の領事出張サービスについて、以下の日程で実施しますので、お知らせいたします。

近隣にお住まいの皆様におかれましては、是非この機会をご利用くださいますよう宜しくお願いいたします。

○ハリファックス領事出張サービス

日時 : 2019年9月15日(日) 午後12時30分~午後4時

場所 : Halifax Central Library (Windsor Foundation Room (4F))

住所 : 5440 Spring Garden Road, Halifax, NS, B3J 1E9

申込締切 : 2019年8月30日(金)

【詳細】

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday_halifax_20190915.html

○セントジョンズ領事出張サービス

日時 : 2019年9月22日(日) 午前10時~午後12時, 午後1時~午後2時

場所 : Memorial University of Newfoundland

Bruneau Centre for Research & Innovation

Beatrice Watts Boardroom (Room IIC-2014)

住所 : Elizabeth Ave. St John's, NL A1B 1T5

申込締切 : 2019年9月11日(水)

【詳細】 https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday_NL_20190922.html

○フレデリクトン領事出張サービス

日時 : 2019年10月20日(日) 午前10時~午後12時, 午後1時~午後2時

場所 : Fredericton Public Library (市立図書館)

(Wolastoq Room (地上(RC)階))

住所 : 12 Carleton Street, Fredericton, NB, E3B 5P4

電話 : 506-460-2800

申込締切 : 2019年10月4日(金)

【詳細】 https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday_NB_20191020.html

領事出張サービスに関するご照会は、当館領事班までお願いします。

電話 : 514-866-3429 (代)

E-mail : consul@mt.mofa.go.jp

(2) 教科書の無償給与申込みに際する日本国籍確認書類について(当館へ直接申込む方へ)(再度のご案内)

当館では、管轄地域に在住する義務教育学齢期にある日本人の子女のために、日本の教科書の無償給与を行っています。

毎年2回(春頃:後期分, 秋頃:前期分)教科書の申し込みを受け付けています。

今年9月頃の来年度前期分の教科書申込み受付時より、日本国籍確認書類の提示が必要となりますのでご案内いたします。

【確認書類】

- ・お子様の日本国旅券又は戸籍謄本(発行日から6ヶ月以内)

※教科書の無償給与対象者の条件は、日本国籍を保持する義務教育学齢期の子女とされていますので、教科書の申込を行う予定の方は、あらかじめ上記書類をご準備願います。

5 広報・文化便り

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を(culture@mt.mofa.go.jp)までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

(1) 日加修好90周年記念事業の募集

2019年は、2018年に続いて、日本とカナダが外交関係設立90年目を祝います。これは2018年が日本の公使館をカナダに設立して90年目に当たり、2019年がカナダの公使

館を日本に設立して90年目に当たるためです。日加両首脳により「日加協力新時代」と名付けられた日加関係を、両国間の幅広い協力・交流を通じて一層盛り上げていくため、今年も引き続き日加修好90周年を記念するにふさわしい事業を募集し、「日加修好90周年記念事業」として認定します。周年事業として認定された事業は、広報媒体（ポスター、パンフレット、チラシ、プログラム、ウェブサイト、看板、垂れ幕等）に「日加修好90周年事業」の名称と新しいロゴマークを使用いただくことができるほか、管轄地区にある大使館又は総領事館の「日加修好90周年記念行事カレンダー」に掲載されることとなります。奮ってご参加ください。

日加修好90周年記念事業の認定基準、申請方法等、詳細はこちらからご確認ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/90th_event_2019.html

(2) 日加修好90周年事業

ア オタクソン2019

日本のアニメ、マンガ、ビデオゲーム、ポップカルチャーに関するコンベンションです。

日時：8月16日（金）～18日（日）

場所：Palais des congrès de Montreal

201 Viger Ave., Ouest, Montreal

詳細はこちらからご確認ください。 <https://www.otakuthon.com/2019/home/>

期間中、当館協力事業として、日本の伝統文化紹介イベント、日本の観光に関する講演等を開催の予定です。（参加にはオタクソンへの入場料の支払いが必要です。）

イ 第36回カナダ巡回日本映画上映会（モントリオール）

国際交流基金トロントとの共催で、カナダ巡回日本映画上映会を開催します。全て英語字幕つきの上映で、入場無料、先着順で御入場いただきます。

場所：Cinematheque quebecoise

335 De Maisonneuve Blvd East, Montreal, QC

<https://www.cinematheque.qc.ca/en/programmation/projections/cycle/festival-du-film-japonais-2019>

(ア) 「Where I Belong (しゃぼん玉)」 (2017/108分)

原作：乃南アサ，脚本・監督：東伸児，出演：林遣都，市原悦子，藤井美菜，相島一之ほか

日時：9月20日（金）18時半

<https://www.cinematheque.qc.ca/en/programmation/projections/film/where-i-belong-shabondama?pid=31439>

(イ) 「The Night I Swam (泳ぎすぎた夜)」 (2018/79分)

監督：五十嵐耕平，ダミアン・マニヴェル

出演：古川鳳羅，古川螢姫，古川知里，古川孝ほか

日時：9月21日（土）14時15分

<https://www.cinematheque.qc.ca/en/programmation/projections/film/night-i-swam-oyogisugita-yoru?pid=31440>

(ウ) 「Drowning Love (溺れるナイフ)」 (2016/111分)

監督：山戸結希，出演：小松菜奈，菅田将暉，重岡大毅ほか

日時：9月21日(土) 16時

<https://www.cinematheque.qc.ca/en/programmation/projections/film/drowning-love-oboreru-naifu?pid=31441>

(エ) 「Summer Wars (サマーウォーズ)」 (2009/114分)

監督：細田守

日時：9月22日(日) 14時 <http://s-wars.jp/>

ウ 「墨土炎」展 (ケベック市)

(ア) 書道・陶芸・フラワーアレンジメントのデモンストレーション

9月29日から開催される「墨土炎」展に先駆け，書道家寺本小鳳先生，陶芸家ミリアム・ブシャー氏，視覚芸術家エレン・アラール氏によるデモンストレーションが行われます。(無料)

日時：9月21日(土) 13時～15時半

場所：ラヴァル大学 (図書館の前の建物の1階)

Atrium du pavillon Charles-De Koninck

(イ) 「墨土炎」展

書道家寺本小鳳先生，陶芸家ミリアム・ブシャー氏，視覚芸術家エレン・アラール氏による展示会です。(入場無料)

日時：9月29日(日)～10月27日(日)

場所：Atelier Myriam Bouchard

291 Christophe-Colomb Est, #205, Quebec

6 日本関連行事等のお知らせ

* 以下の日本関連行事は，必ずしも当館が共催，後援，保証している行事ではありません。また，同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については，各主催団体へ直接お問合わせください。

* 外部のサイトへのリンクは，あくまでも皆様へのご参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては，当館は一切責任を負いませんのでご了承ください。

(1) 日加修好90周年記念事業

ア モントリオール市立植物園日本館展示「Hiroshima, la vie en heritage」

モントリオール市と姉妹都市でもある広島市に関する展示が行われます。(植物園入園料がかかります。)

期間：5月15日(水)～10月31日(木)

場所：モントリオール市立植物園日本館
4101 rue Sherbrooke Est, Montreal

問合せ先：514-872-0607

詳細はこちらからご確認ください。

<http://calendrier.espacepurlavie.ca/hiroshima-the-legacy-of-life-857793>

イ GO-SOMEWHERE !

5人の日本人若手芸術家 (Tomoko ASO, Akiko TAKEUCHI, Kurumi WAKAKI, Mami YONEKURA, Tsubomi YONEKURA) による作品展示がモントリオール, タドゥサック, ウェイクフィールド等, ケベック州を含む北米各地で行われます。

展示期間：7月13日(土)～8月17日(土)

詳細はこちらからご確認ください。 <https://www.gosomewhere.ca/>

ウ エスパス・ジャポンでのイベント (ケベック市)

(ア) Cine Nippon

ラヴァル大学図書館司書アニー・ベルベ氏監修の日本映画上映会です。

日時：9月4日(水)～11月27日(水) 毎週水曜日18時

場所：ラヴァル大学図書館4階 (Local: 4117)

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C. -Bonenfant, niveau 4, Local: 4117

(イ) 日仏語ランゲージエクスチェンジ

日時：(隔週月曜日) 10月7日, 21日, 11月4日, 18日, 12月2日

(仏語) 19時～19時45分 (日本語) 19時45分～20時30分

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C. -Bonenfant, Espace Japon, niveau 00

(ウ) エスパス・ジャポン書道部による書道展示会

寺本小鳳先生指導のラヴァル大学エスパス・ジャポン書道部の生徒による作品の展示会が行われます。

日時：10月16日(水)～12月15日(日)

場所：ラヴァル大学図書館4階

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C. -Bonenfant, niveau 4

(エ) 水墨画アトリエ

今井則子氏指導の水墨画アトリエです。

日時：11月17日(日) 13時～16時

場所：ラヴァル大学図書館 4 階 (Local: 4285)
Bibliotheque de l'Universite Laval
Pavillon J.-C. -Bonenfant, niveau 4, Local: 4285

(2) その他のイベント

ア モントリオール市立植物園日本館・日本庭園でのイベント

場所：モントリオール市立植物園日本館・日本庭園 (植物園入園料がかかります。)
4101 rue Sherbrooke Est, Montreal

問合せ先：514-872-0607

(ア) 裏千家淡交会モントリオール支部による茶道デモンストレーション

(別途料金がかかります。)

期間：6月22日(土)～8月31日(土) 毎週土曜, 13時半及び15時 (所要45分)

<http://calendrier.espacepoulavie.ca/tea-ceremony-867624>

(イ) 折り紙ワークショップ

期間：6月22日(土)～8月31日(土) 毎週土曜, 14時～16時 (所要5～15分)

<http://calendrier.espacepoulavie.ca/origami-872106>

(ウ) ガイド付き茶庭ツアー

期間：6月22日(土)～9月2日(月)

土曜を除く毎日：11時～13時及び14時～16時, 土曜：11時～13時

<http://calendrier.espacepoulavie.ca/guided-tours-of-the-tea-garden-871917>

(エ) 「Gardens of Light (光の庭園)」

期間：9月6日(金)～10月31日(木) 18時～22時

場所：モントリオール市立植物園日本庭園・中国庭園・先住民庭園

<http://calendrier.espacepoulavie.ca/gardens-of-light-864390>

イ エスパス・ジャポンでのイベント (ケベック市)

(ア) 書道部コース レベル1 (初心者コース)

寺本小鳳先生指導 (助手：佐藤祥子及びミシェル・ゴーティエ) のもと, 書道初心者または書道をもう一度初めてみようと思う方を対象に行われる書道教室です (15歳以上)。

日時：9月5日, 10日, 11日の3回, 17時～19時

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliotheque de l'Universite Laval

Pavillon J.-C. -Bonenfant, Espace Japon, niveau 00

受講料：大学関係者36ドル, 一般40ドル

お問合せ・お申込み先：佐藤祥子氏 sachiko.sato@crchudequebec.ulaval.ca

(イ) 裏千家淡交会茶道教室

日時：9月21日(土)～11月23日(土) 毎週土曜日計10回

初級1及び中級：10時～12時半, 初級2：13時～15時半

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C. -Bonenfant, Espace Japon, niveau 00

受講料：大学関係者 160ドル，一般 180ドル

詳細はこちらからご確認ください。 <https://chadourasenkequebec.jimdo.com/cours/>

7 ケベック州・大西洋4州政治経済情勢

(1) 政治

ア ケベック (QC) 州

- ・ 7月5日，州政府は移民の仏語教育のために7,030万加ドルを拠出し，80名のフランス語教師を増員，300クラスを増設する計画を発表。
- ・ 7月6日～10日，プルー観光大臣は州の観光大臣としては初となる訪日。同訪問に同行したケベック州観光産業連盟と旅行比較サイト「トラベルコ」を運営する株式会社オーブンドアは，パートナーシップ協定を締結。
- ・ 7月9日，1936年以来，州議会の議場に掲揚されていた十字架が撤去される。
- ・ 7月9日，サスカチュワン州で行われた州と準州の首相が集まる連邦評議会で，ルギー州首相は，パイプライン事業に関しケベック州政府は依然州内にパイプライン網を通すことに反対を表明。
- ・ 7月11日，州政府は移民制度改正により，ケベック州内の大学で学位を取得した学生が迅速に移民申請を行えるとのプログラムを11月まで暫定停止とすると発表。
- ・ 7月23日，カナダ・イスラム教徒評議会 (CNMC) 及びカナダ市民自由協会 (ACLC) は政教分離と公職従事者の宗教的シンボルの着用に関する法案21に対するケベック州最高裁の決定を控訴する意向を表明。
- ・ 7月29日，ルギー州首相は，州公社の取締役にビジブルマイノリティの人数を増やすための枠は設定しない意向を表明。

イ 大西洋4州

- ・ 7月10日，連邦評議会に先立ち，大西洋州の4首相がサスカチュワン (SK) 州サスカトゥーンで意見交換を実施し，医療分野の補助金増額，全国薬保険制度設立の際は各州のニーズを採り入れることを連邦政府に求める共同声明を発表。また，大西洋州が目指すクリーンエネルギーネットワーク構築計画の進捗状況を確認した。
- ・ 7月23～25日，全国600を超えるファーストネーションの代表が参加するファーストネーションズ議会がニューブランズウィック (NB) 州フレデリクトンで開催。教育や気候変動対策を含む様々な分野で46の決議が採択された。次回ファーストネーションズ議会は，2020年7月7～9日にハリファックスで開催予定。

ウ ニューファンドランド・ラブラドール (NL) 州

- ・ 7月22日，マスクラット滝水力発電所貯水のための水没によるメチル水銀汚染を懸念するランプ・ヌナツィアヴット (ラブラドールのイヌイット自治区) 代表は，汚染対策が不十分である

として、8月7日に予定されている水没作業を延期するよう、ボール州首相に要請。

エ プリンズエドワードアイランド（PEI）州

- ・7月1日、州内で使い捨てプラスチック袋の使用禁止開始。州全体の取り組みとしてはカナダ初。
- ・7月5日、連邦政府と州政府は、州北岸のセント・ピーターズ・ベイにPEI大学所属気候変動研究所設立のため1,850万加ドルを支出することを発表。
- ・7月8日、キング州首相がオタワでトルドー連邦首相と初会談。
- ・7月11日、ランド州緑の党議員が個人で提出した気候変動対策法案が州議会で可決。2030年までに温室効果ガス排出量を1.2メガトンに抑えるというもので、現行法で定められた排出量1.4メガトンよりも厳しい目標。
- ・7月12日、州予算が議会で可決。
- ・7月15日、4月の州総選挙直前の緑の党候補事故死により、延期となっていたシャーロットタウン＝ヒルズボロー選挙区における選挙が実施された結果、ジェームソン進歩保守党候補が勝利。与党進歩保守党にとっては、過半数にはまだ1議席足りない（全27議席中13議席に）ものの、女性議員を2人に増やし、都市部で初の1議席を獲得する貴重な勝利。
- ・7月17日、ペイエット・カナダ総督がキング州首相と初会談。

オ ノバスコシア（NS）州

- ・7月19日、10月の連邦総選挙に向け保守党からの出馬が決まった後も州議会議員を続けていた州進歩保守党の3議員がそろって辞職を発表。自由党からの出馬が決まっているもう1議員は州NDPを離党するも議員辞職は保留。マクニール州首相（自由党）は、4議員は州民の税金で給料をもらい続けていると批判、州議会法を改正すると発言。

カ ニューブランズウィック（NB）州

- ・7月1日、ポール・マゼロール前オーストラリア・グリフィス大学副学長がニューブランズウィック大学学長に就任。
- ・7月2日、州政府は、初の仏語系インターナショナル・スクールをチュニジアのサースに開校。
- ・7月2日、言語的少数派の権利を守ることを目指し、NBアカディア協会はケベック・コミュニティグループ・ネットワーク及びオンタリオ・フランコフォニー議会と覚書を締結。
- ・7月3日、ウォラストケのファーストネーションであるトビックとマダウスカは、ズワイガニの商業漁業権を求め、連邦政府を提訴。
- ・7月8日、ヒッグス州首相は、連邦政府による州への炭素税課税について、サスカチュワン州とオンタリオ州控訴裁判所の合憲判決を受け、州として連邦政府を相手取った単独訴訟を断念。
- ・7月16日、州政府は、在宅医療や介護施設等の医療機関外サービスを手がける民間企業メダヴィとの契約を延長。2017年に前自由党政権が締結した同契約について、ヒッグス州首相は破棄を検討していた。メダヴィは州内の救急と電話医療相談サービスも運営している。
- ・7月30日、州政府は、深刻な看護師不足に対応するため、今後10年間、毎年130人の看護師を雇用する計画を発表。州の看護師育成プログラムの見直しと州外・海外からの看護師受け

入れ拡大に取り組む。

(2) 各州世論調査結果（未確定分は除く）

ア 州議会選挙（政党支持率）

・QC州（Mainstreet 社調べ，6月27日～7月2日）：ケベック未来連合（CAQ）48%，ケベック自由党（PLQ）22%，ケベック連帯（QS）15%，ケベック党（PQ）11%，その他4%

イ 連邦議会選挙（政党支持率）

・QC州（Mainstreet 社調べ，6月27日～7月2日）：自由党37%，保守党22%，ブロック・ケベコワ19%，新民主党（NDP）9%，緑の党8%，人民党（PPC）4%，その他2%

・QC州（Leger Marketing 社調べ，7月19～7月23日）：自由党37%，保守党24%，ブロック・ケベコワ18%，NDP9%，緑の党8%，PPC4%，その他0%

・QC州（Forum Research 社調べ，7月）：自由党30%，保守党28%，ブロック・ケベコワ15%，NDP9%，緑の党10%，PPC4%，その他4%

(3) 経済

ア QC州

・7月2日，2018年11月から続くベカンクルのアルミ精錬所の労使交渉は，連邦政府の介入により従業員連盟から80%の合意を獲得し終結。

・7月6日，州政府は地方空運支援事業に2，200万加ドルを支出。

・7月8日，モントリオール観光局は，今年同市を訪れる観光客数が史上最高の1，100万人を突破すると予想。米国からの観光客（全体の7.3%占める）について言えば加ドル安が一因。

・7月10日，連邦評議会がフォード・オンタリオ州首相はルギー・ケベック州首相に対し，オンタリオ州の電力は余剰があるためケベック州からの買電予定はない旨発言。

・7月11日，AI技術開発を手がける「ヌーボ（Mnubo）」社（本社，モントリオール）を米国のソフトウェア開発会社「アスペン・テクノロジー（Aspen Technology）」が1億200万加ドルで買収。

・7月15日，州政府は，人工知能研究開発コンソーシアムSCALE AI (Supply Chain And Logistic Excellence Artificial Intelligence)が計画する総額4，680万加ドルのトレーニングプロジェクトに対し，今後2023年までに半額の2，340万加ドルの財政支援を行うことを発表。

・7月16日，デイヴィ造船所は，カナダ海軍のフリゲート艦のメンテナンス契約を受注。契約額は5億加ドルで，これにより2020年から5年間で400人の雇用創出となる見込み。ブリティッシュコロンビア州シーSPAN造船所も同じ契約を受注。

・7月19日，米ニューハンプシャー州最高裁は，昨年同州評議会が下したケベック州からの送電線計画「ノーザンパスプロジェクト」は同地域の秩序ある発展に寄与しないため拒否するとの決定を支持。

・7月25日，州政府は，州内で幼児の誤飲・誤食を防ぐため，大麻を使用した飲食製品の販売

を禁止とする法案を提出。

- ・ 7月27日、ベル・メディア社はケベック州主要都市のテレビ通信を網羅するVメディアの買収を発表。現在、規制当局の承認待ち。

- ・ 7月30日、エア・フランスは、エア・バスA220型（旧ボンバルディアCシリーズ）を60機発注（550億米ドル相当）。同機はケベック州ミラベル工場で生産され、2021年9月納入開始予定。

イ 大西洋4州

- ・ 7月12日、カナダ事業開発銀行（BDC）は、大西洋州の企業融資のため3億加ドルの追加支出を発表。

- ・ 7月19日、カナダが国際連合食糧農業機関（FAO）の違法漁業防止寄港国措置協定に加入。

ウ NL州

- ・ 7月16日、ニューファンドランド島南方沖のサンピエール島・ミクロン島（仏海外準県）は、一昨年に購入したフェリー2隻の車両運搬スペース使用を可能にするため、対岸のNL州フォーチュン港の拡張工事に今後10年間で525万加ドル支出することに合意。

- ・ 7月18日、ニューファンドランド島東方沖のハイバーニア（Hibernia）油田で12,000Lの原油が流出し生産中断。同油田はエクソンモービル率いる企業集団HMDC所有。

- ・ 7月26日、ムーディーズは、膨らみ続ける負債やマスクラット滝プロジェクトのコスト高等を理由に州の格付けをAA3からA1に格下げ。これを受け、オズボーン州財務大臣は、格下げは想定内であり州の財政計画に影響はないとコメント。

エ PEI州

- ・ 7月8日、エアカナダ・ルージュは、夏季のみだったシャーロットタウン・トロント間の路線を通年運航すると発表。

- ・ 7月25日、連邦・州政府は、州内の道路と橋の延長・改修工事に2.1億加ドルを支出すると発表。

- ・ 7月29日、連邦政府は、シャーロットタウンに60ユニットからなるアフォーダブル住宅（低所得者層向け住宅）建設のため、1,190万加ドルを支出すると発表。シャーロットタウンは、現在空き室率が0.2%と深刻な住宅不足となっている。

- ・ 7月31日、カナダ不動産協会によると、過去3年間のシャーロットタウンの住宅価格上昇率は38.5%で、トロント（25.3%）やモントリオール（17.7%）を上回った。また平均住宅価格は20万加ドルから27.7万加ドルに上昇した。

オ NS州

- ・ 7月3日、ピアリダイ・エナジー（本社カルガリー）がシェル・カナダからアルバータ州の天然ガス資産を1.9億加ドルで取得したことにより、ピアリダイが州東部ガイズボロー・カウンティのゴールドボロに計画している液化天然ガス（LNG）プロジェクトが前進。6月26日に発表された同売買契約によりプロジェクト実現に十分な天然ガス供給量を得た。

・ 7月31日、ソーベイズ、IGA等のスーパーマーケットを所有するエンパイア（本社ステラートン）は、2020年1月末をもって国内全店舗で使い捨てプラスチック袋使用禁止を決定。

カ NB州

・ 7月4日、米商務省は、NB州の民営林の固定資産税が1ヘクタールあたり100ドルと格安なのは政府補助に当たるため、同州産木材に対し追加関税を課すべきとの米木材産業団体の主張を棄却。

・ 7月30日、カナダ国家エネルギー委員会（NEB）はTCエナジー（本社カルガリー）に対し、NB州のエンブリッジ・ガスNBとアーヴィング・オイルを含む加東部、米北東部の小売17企業へのアルバータ州産天然ガス販売を許可。天然ガス輸送に使用されるパイプラインは、2017年に中止となったエナジー・イースト・パイプライン計画で石油輸送に使用されるはずであったもの。

[在モンリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから送信されています。本メールあてに直接返信なさらないようお願いいたします。本メールマガジンに関するご意見・ご要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。 emagazine@mt.mofa.go.jp

○配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、 emagazine@mt.mofa.go.jp までご連絡願います。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モンリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらをご利用ください。

○バックナンバーの閲覧は、以下のホームページからお願いいたします。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（www.kantei.go.jp）

外務省ホームページ（www.mofa.go.jp/mofaj/）

在カナダ大使館ホームページ（www.ca.emb-japan.go.jp）

当館ホームページ

（https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館 Facebook（www.facebook.com/JapanConsMontreal）

○発行：在モンリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333,

Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当

(emagazine@mt.mofa.go.jp) までご相談ください。

